



資料提供	
令和6年2月9日	
担当課 (担当)	農政企画課 (三澤)
電 話	0857-30-8302 (内線3369)

## 令和5年度鳥取市農業賞贈呈式について

このたび、令和5年度鳥取市農業賞受賞者を決定し、贈呈式を行いますので、取材方よろしくお願ひします。

**1. 概 要** 鳥取市は、本市の農業の発展に功績のあった個人・団体等に対し、「鳥取市農業賞」を贈呈する鳥取市農業賞贈呈事業を昭和56年度から実施し、これまでに個人68人、団体53団体が受賞されています。受賞者については、鳥取市農業賞選定委員会（鳥取市農林水産部、鳥取県鳥取農業改良普及所、鳥取市農業委員会、鳥取いなば農業協同組合で構成）が候補者を選定のうえ、市長が決定するもので、今回は個人2人と、1団体が受賞されます。

**2. 日 時** 令和6年2月15日（木） 14時30分～15時00分

**3. 会 場** 鳥取市役所 秘書課第1応接室

### 4. 出席者

#### (1) 鳥取市

- ・市長 深澤 義彦
- ・農林水産部長 坂本 武夫
- ・農政企画課長 増田 泰則

#### (2) 受賞者

- ・優良農業者 本城 晃（長谷）  
ほんじょう あきら
- ・優良農業者 中村 理司（河原町佐貫）  
なかむら さとし
- ・優良営農組織 農事組合法人まごころ農場ひろせ（国府町広西）

※受賞者概要は別紙参照

### 5. 次 第

- (1) 市長あいさつ
- (2) 受賞者紹介
- (3) 賞状授与
- (4) 歓談、記念撮影

### 6. 参 考

- ・優良農業者  
農業経営が特に優良と認められる個人又は法人
- ・優良営農組織  
営農を推進するため、集団活動に積極的に取り組み、その成果が優秀な営農組織

## 令和5年度鳥取市農業賞贈呈受賞者概要

### 【事業概要】

本市における農業の発展並びに、その技術及び経営の改善意欲の高揚を図るため、関係団体等から推薦のあった以下の個人、団体を表彰する。

＜表彰受賞部門＞

- 優良農業者 農業経営が特に優良と認められる個人又は法人
- 優良営農組織 地域又は集団による営農を推進するため、集団活動に積極的に取り組み、その成果が優秀な営農組織
- 優良むらづくり組織 組織または集団により地域の活性化に積極的に取り組み、その成果が優秀な組織（今年度該当者無し）
- 特別賞 農業に関し、全国的な評価を受けた者（今年度該当者無し）
- 功労者 本市の農業の発展に功績のあった者（今年度該当者無し）

### 【令和5年度鳥取市農業賞受賞者概要】

＜優良農業者＞

ほんじょう あきら  
本城 晃（41歳） 鳥取市長谷

○主な栽培作物：水稲、しいたけ

本市認定農業者。鳥取市大和地区の代表的な水稲大規模農家であり、高齢化で水田が作れなくなる人が多い中、地域の受け皿として農地を守っている。水稲生産は大和地区全域に及ぶため、水稲品種構成を考え作期分散を行い適期管理ができるよう配慮している。

また、しいたけの栽培にも力を入れており、過去5年でほだ木を2,000本増やすなど規模が拡大している。

令和4年度には鳥取市スマート農業社会実装加速化総合支援事業により、スマート機能つきのトラクターを導入したことにより、作業効率が向上し、水稲の栽培面積も拡大している。

自身の農業経営のみならず、鳥取県指導農業者や鳥取地区椎茸組合連合会長を務めるなど本市の農業振興に寄与している。

<優良農業者>

なかむら さとし  
中村 理司 (39 歳)、 河原町佐貫

○主な栽培作物：梨、柿

本市認定農業者。平成 30 年の父親から事業承継以降、両親とともに主に梨、柿の栽培に取り組んでいる。30 年以上専業で農家をしていた父親から技術を引き継ぐだけでなく、新しい栽培方法の導入や新品種の栽培など農作業の効率化や農業経営の改善に積極的に取り組んでいる。

経営状況については、独自の販路を持っているため非常に安定しており、また、インターネット通販を活用し、販路の拡大を図っており、今後は海外への販売も視野に入れている。

事業の継続性については、令和 6 年から常時雇用者を雇うことが決まっており、両親が引退した後の営農についても対策を講じており、今後さらなる活躍が期待されている。

<優良営農組織>

農事組合法人まごころ農場ひろせ (国府町広西、代表理事 ひろせ こういち 廣瀬 浩一)

平成 26 年の大幅な米価下落を受け、個々の小規模経営のままでは経営が成り立たないことを危惧し、平成 27 年 1 月の広西部落定期総会で集落営農の推進に向けて、推進委員会を設置した。同年 4 月に同法人を設立し、水稻 12ha、大豆 1ha、白ねぎ 17a、合計 13.17ha の作付けで運営を開始した。(令和 6 年 1 月現在 組合員数 37 名)

現在は、水稻、大豆を中心に、もち麦、白ねぎ等の新規作物の栽培を積極的に行うなど経営の複合化を図り、安定した経営を続けている。(令和 4 年度 水稻 7.4ha、大豆 5.8ha、もち麦 2ha、白ねぎ等野菜 1.9ha 合計 17.1ha)

県内に供給する大豆の種子の生産を担っており県内の大豆振興に大きく貢献するなど優良営農組織として活躍している。